

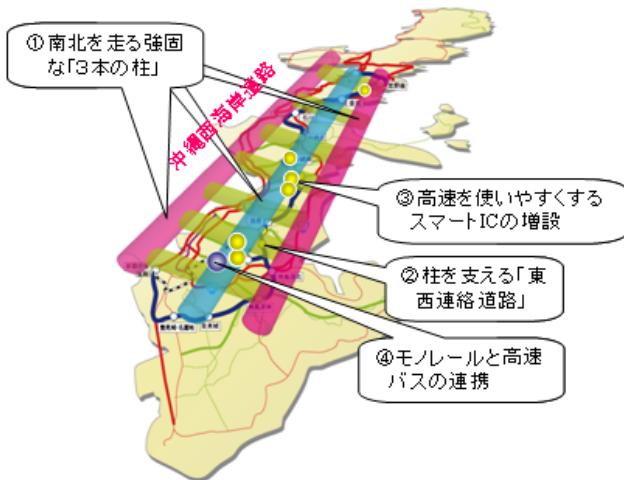
那覇空港自動車道豊見城東道路の整備について

内閣府 沖縄総合事務局 開発建設部 道路建設課

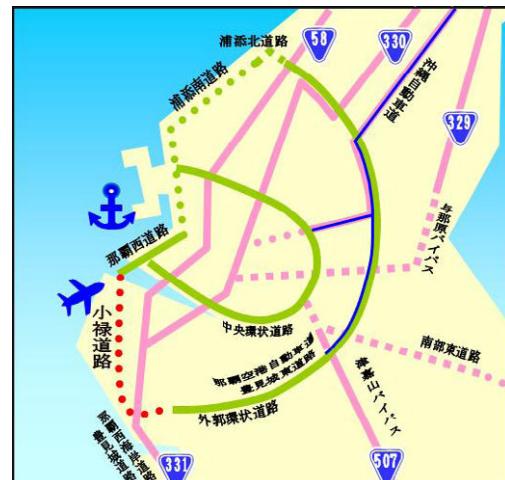
1. はじめに

沖縄県は戦後、米軍統治下におかれ、1972年の復帰から国道をはじめとする道路交通網の整備を実施してまいりました。2003年8月に唯一の軌道形交通である「沖縄都市モノレール」が完成・開業したものの、陸上交通の大半を自動車交通に依存していることから、全国でも渋滞の著しい地域となっております。

沖縄総合事務局では、沖縄県の交通問題を解消する施策として「ハシゴ道路」の整備、那覇都市圏の渋滞対策を目的とした「2環状7放射道路」の整備を進めているところです。



「はしご道路」の整備イメージ

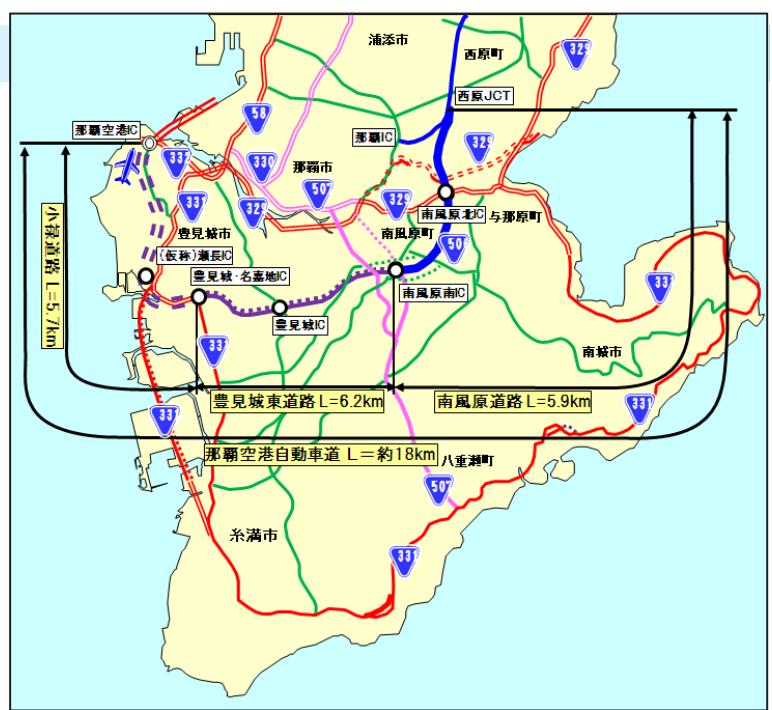


「2環状7放射道路」の整備イメージ

2. 那覇空港自動車道の概要

那覇空港自動車道は、沖縄県の玄関口である那覇空港と沖縄自動車道を結ぶ一般国道の自動車専用道路で、沖縄自動車道とともに沖縄本島を南北に縦貫する基幹的交通軸を形成するもので、起点：那覇空港、終点：西原JCTとする延長 17.8 km の道路で、沖縄県の経済活性化、観光の振興、高速性定時性を確保し、那覇都市圏の混雑緩和に寄与する道路として整備をおこなっています。

そのうち南風原道路については、昭和 63 年度に事業化され、平成 12 年 6 月に九州沖縄サミットにあわせ完成供用しました。豊見城東道路については、平成 3 年度事業化され、



那覇空港自動車道

平成20年3月には全線暫定供用（2/4）し、現在、完成供用に向け事業促進中です。小禄道路については、平成23年度に事業化され、現在、設計および用地買収促進中です。

3. 豊見城東道路の暫定供用の整備効果と整備後の交通状況の変化

那覇空港自動車道の内、豊見城東道路は、豊見城・名嘉地ICから南風原南IC間の延長6.2kmの道路です。前項でも記載しましたが、平成3年に事業化、平成15年4月26日に豊見城ICから南風原南IC間の延長3.5kmを暫定2車線にて供用を行いました。引き続き、平成20年3月22日に豊見城・名嘉地ICから豊見城IC間、延長2.7kmを暫定2車線で供用しました。

H20.3月の全線暫定供用から1年後に、以下のような整備効果が確認されています。

① 那覇空港自動車道の交通量は供用直後から着実に増加

◇豊見城・名嘉地ICから豊見城IC間の交通量は、供用直後から平日：約3割、休日：約1割増加

◇豊見城ICから南風原南IC間の交通量も供用前から平日：約4.5割、休日：約4.3割増加

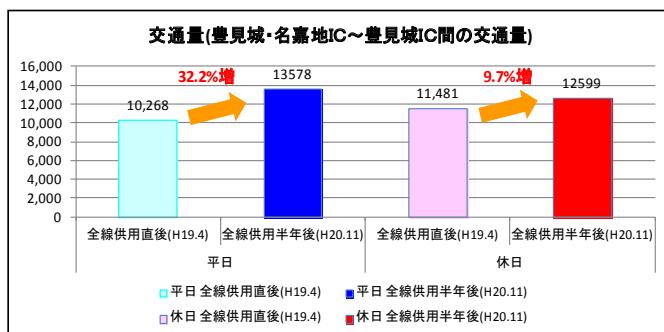


図-1

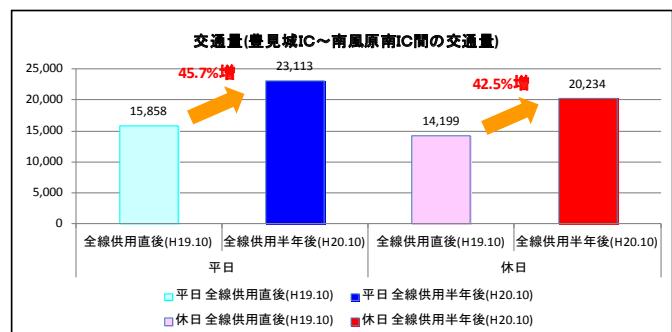


図-2

② 那覇市内を迂回する外郭環状道路の機能を発揮

◇全線供用により、環状道路の機能が強化されたことに伴い、那覇都市圏の一般道路の交通量が減少し、都市圏内の交通混雑が緩和。 図-3

◇並行路線である国道329号上間交差点、仲井真交差点や県道7号線の豊見城IC交差点において渋滞が緩和。 図-4



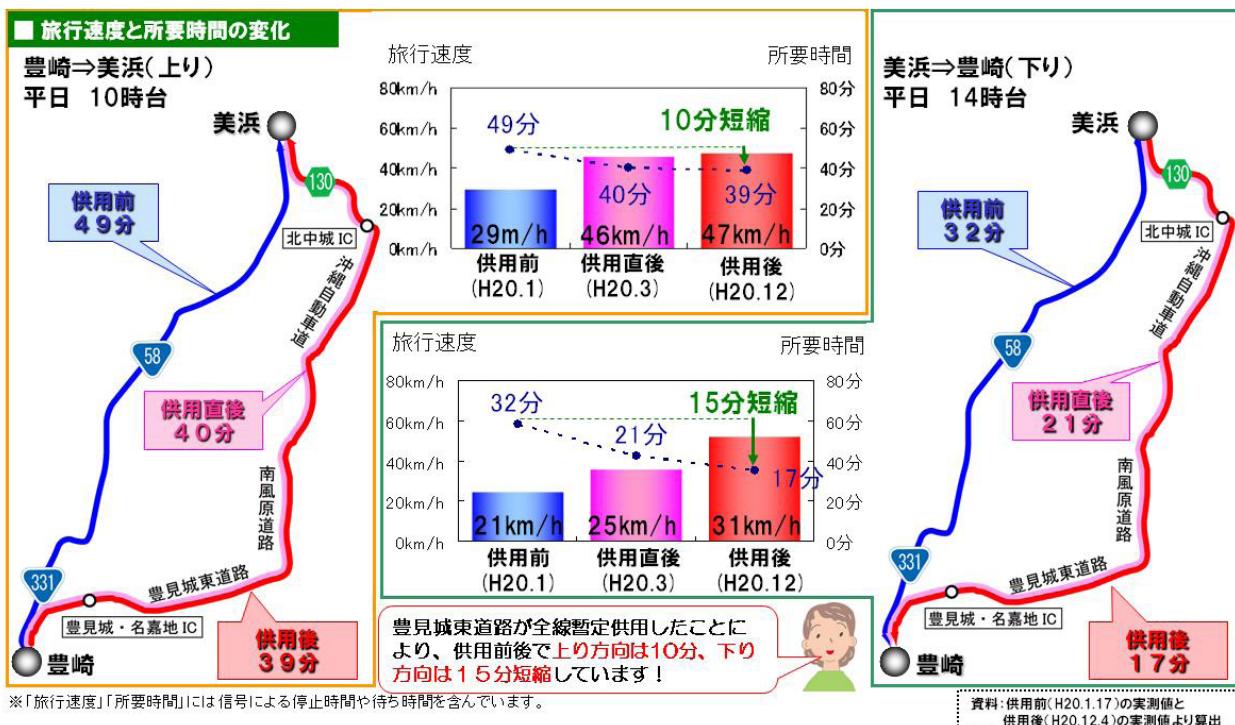
図-3



図-4

③ 豊見城市豊崎から北谷町美浜間の所要時間が短縮 図－5

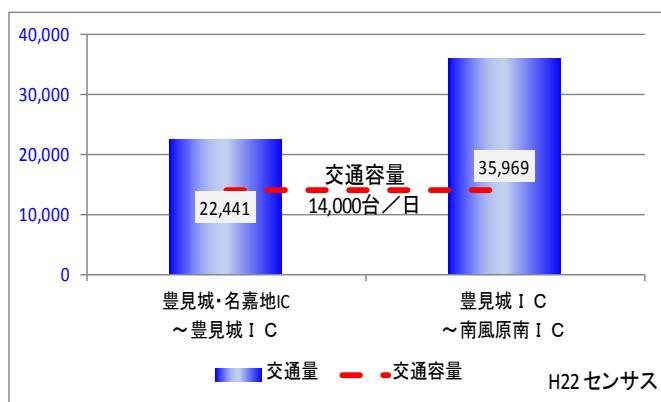
◇美浜→豊崎、豊崎→美浜の旅行速度が向上し、所要時間が大幅に短縮



図－5

以上の整備効果は、全線暫定供用後1年後の効果です。しかし、供用から5年以上経過し、現在では、交通量が2車線の交通容量を大幅に超過している状況です。 図－6

特に4車線供用している南風原道路から豊見城東道路に接続している、南風原南 ICにおいて、朝夕の交通渋滞が著しい状況となっています。(写真)



図－6



渋滞状況(南風原南 IC付近)

4. 豊見城東道路完成(4/4) 供用に向けて

現在、豊見城東道路については、道路の渋滞解消に向け、銳意4車線化の整備を実施しており、豊見城 IC から南風原南 IC 間を平成 25 年度、豊見城・名嘉地 IC から豊見城 IC 間を平成 26 年度に供用を予定しております。

特に、平成 26 年度の全線完成供用に際しては、現在、対面交通で供用中（上り線側）の豊見城トンネルの照明灯や換気設備の切り替え工事のため、新設（下り線側）トンネルへの交通の切り替え、また、そ

れに先だって、新設トンネルの防災訓練を実施し供用を行う予定です。

豊見城東道路の全線完成供用により、那覇都市圏の更なる渋滞緩和が図られることになり、沖縄県の経済の活性化、観光の振興に大きく寄与するものと期待されています。



豊見城東道路（豊見城市金良付近）



豊見城東道路（南風原町津嘉山付近）

5. 今後の那覇空港自動車道の整備

平成 26 年度に豊見城東道路の完成供用後に、豊見城東道路と共に「ハシゴ道路」「2 環状 7 放射道路」の一部を形成する地域高規格道路の沖縄西海岸道路豊見城道路が平成 27 年度に、同糸満道路が平成 28 年度と完成（4/4）供用を予定しています。そのため、豊見城東道路と豊見城・糸満道路を接続する国道 331 号の小禄地区において、交通の集中が予測されています。特に当該地区は沖縄県内最大の物流拠点である那覇空港に隣接しており、交通の要所となることから、今後は、沖縄県、那覇都市圏の渋滞緩和、沖縄本島中北部と那覇空港間の高速定時性確保に向け、小禄道路の整備を推進する予定です。



那覇空港自動車道